



①岩手大学と共同開発した名刺入れと財布(左上)はじめ、同社が世に送り出してきた琥珀コラボ商品。琥珀万年筆(中央)は再生琥珀の技術が発揮されている。
 ②③琥珀の原石(上)は削る・磨く・艶だしという手加工で美しく輝く(下)。
 ④琥珀をアクセサリなどに組む作業。繊細さが求められるため女性が活躍する。
 ⑤琥珀採掘体験も人気事業のひとつ。
 ⑥新規プロジェクトへの思いを語る、新田久男営業本部長。事業2年目となる漆とのコラボ企画は様々な方法を模索中。
 ⑦博物館新館。体験型のディスプレイシステムを導入、琥珀の魅力を体験できる。

久慈の至宝

「琥珀」で地域の発見と復興を

久慈地方は日本屈指の琥珀の産地であり、歴史や文化的背景からもロシアなど世界的な産地と並び称されている。そんな久慈産琥珀の価値と魅力を全国へ発信して30年。製造販売から始まった久慈琥珀株式会社は、今や観光や飲食業なども内包する琥珀の総合企業だ。その積極的な事業展開が今、地域の復興に大きな力になっている。

琥珀は久慈地域の歴史そのもの埋もれていた価値を再発掘

「人類最古の宝石」と呼ばれる琥珀は、数千万年をかけて化石化した木の樹脂。本県の久慈地方はこの琥珀の日本最大かつ唯一の商業産地であり、採掘の歴史は縄文時代にまでさかのぼることができるほど古い。

「そんな琥珀の文化を全国に伝える役割を我々は持っている」と、久慈琥珀株式会社代表取締役社長の向正彰さんは語る。同社は、地場産業育成の期待を担い昭和56年に設立し、昭和57年には加工工場操業と琥珀製品の販売を開始。戦後は需要もなく地域に埋もれていた琥珀に再び価値を見出し、新たなニーズを創出してきた。

事業は琥珀の製造販売にとどまらない。昭和59年には三陸鉄道開通に合わせ「琥珀資料館(現博物館本館)」を建設し、63年にはレストラン「ビストロくんのこ」をオープン。平成13年には、久慈市の姉妹都市リトアニア共和国の物産販売館「ギンタロ・リトアニア館」が完成した。そして16年には本館と遊歩道で結ばれた博物館・新館もオープンしている。その一方で琥珀の実用性に着目し、琥珀入り入浴剤や化粧品を商品化。日本で唯一の再生琥珀技術を使い、シチズン時計と共同開発した「アンバーダイヤルウォッチ」などコラボ商品も多い。

「琥珀という素材を知ってもらい、全国から久慈に来てもらうことも大事。我々が手がけるのは、琥珀の総合産業なのです」と向

社長はいう。

革新なき企業に成長はなし 震災後も積極的に事業展開する

積極的な事業展開は、宝飾マーケットの縮小や少子高齢化による顧客層の変化など、情勢を冷静に見据えてのこと。同社営業本部長の新田久男さんは「琥珀を何とか使っていこうという『シーズ発想』から、今は新規顧客を取り込むための『ニーズ発想』が求められています」と強調する。

近年の活動だけを拾っても実に多彩だ。平成21年には「いわて希望ファンド」を活用してビーズ感覚で使える琥珀パーツを販売、カルチャー教室やジュエリー作家といったチャンネルを開拓。23年に発表したセーラー万年筆(株)との共同開発品「琥珀万年筆」は、企業トップなど今までにない顧客層にも浸透した。ほか岩手大学と共同開発した琥珀付きの名刺入れや財布、「いわ

て農商工連携ファンド」を活用して現在進行中の浄法寺漆とのコラボ商品など、どれもユニークさに目を見張る。「企業経営で大事なのは新しい商品の開発と新しいサービスの創造」と向社長。革新なき企業に成長はないと、きっぱり語る。

そんな久慈琥珀にとっても、東日本大震災の痛手は大きかった。昨年4月と5月の入館者はゼロ。だが全国からの支援をきっかけに、今まではなかった東京以西への直営店を増やしていくべく市場調査を行っている。それと同時に本社の観光施設の見直しを行い、新しい要素を付加していく「深耕作戦」もスタート。手始めは震災復興を祈念した企画展「三陸の夜明け」(6月20日まで)と、7月には国立科学博物館の協力による復興支援特別巡回企画「恐竜 アロサウルス展」も予定されている。

「久慈地域の復興に寄与したい」。震災後に生まれたもうひとつの「役割」に、久慈琥珀は知恵を結集して取り組んでいる。

我が社の力こぶはコレ!
 地域文化を世界に発信して地元を元気に!
 地元をどうするか?が、現在のテーマ。琥珀という地域資源を掘らせていただいているのだから地域貢献したいし、何より今のままでは震災後の展望が描けない。事業をさらに見直し地域の文化と結びつけ、ローカルから世界へ発信していきます。

向正彰代表取締役社長



会社名 久慈琥珀株式会社
 所在地 久慈市小久慈町19-156-133
 所在地 0194-59-3821
 代表者 向正彰
 創業 昭和56年
 従業員 72名
 業種 琥珀装飾品の製造加工
 ならびに販売、琥珀博物館の営業

発信!!
 いわての
 力こぶ

久慈琥珀株式会社
 支援企業紹介 久慈市

